

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す 太字になっている部分は書いて覚えるとよい。	
② 宿題用テキストの基本問題A	
③ 宿題用テキストの基本問題B	
④ 宿題用テキストの復習問題	
⑤ 週テスト復習用を解く。	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A	

発展メニュー (☆) …他の教科の宿題が終わって、さらに余裕があれば、やりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題B	

担当より一言

今回は、滑車と輪軸について学習しました。

滑車については、まずは定滑車と動滑車のそれぞれの特徴を確認しましょう。

定滑車は力の向き「だけ」を変えるもので、力やひもを引く距離は変わらない。

動滑車は力で得をするが、距離で損をする。

特に意識をしておいてほしいことは、力が $\frac{1}{2}$ になればひもを引く距離は2倍、力が $\frac{1}{3}$ になればひもを引く距離は

3倍、と反比例の関係になっていることです。問題演習でも、ひもを引く距離を求める問題が出てきますが、

ひもを引く力の大きさがわかれば苦労しにくくなります。

複数の滑車が組み合わさった問題は、同じひもには同じ力がかかることと、ひもを引いたときに一体となって動くのはどの部分で何本のひもで持ち上げられるのかに注意をしながら解くようにしてください。

輪軸についても、考え方はこと変わりません。ひもを引いたときに動く距離は相似の考え方で解くことを押さえておきましょう。

※宿題テキスト第46回 p5、基本問題 B5の問題文のおもりの重さに誤りがありました。また、p17の浮力の回次に誤りがありました。以下お詫びして訂正いたします。

第46回 p5、基本問題 B5

誤:100g 正:50g

p17

誤:第48回 正:第47回